2020年12月期 第2四半期
決算説明資料

2020/08/17

代表取締役社長　川端克宜

アース製薬株式会社

アジェンダ

1. 2020年12月期　第2四半期業績

2. ファイナンス施策実施の経緯・目的

3. 今後の取り組み

© Earth Corporation All Rights Reserved.

1. 2020年12月期 第2四半期業績

2020.2Q 決算概要

★ 2020.2Q業績サマリー

- 大幅増益：営業利益 **前期比 216.5%　計画比 154.1%**
- 国内　　：虫ケア用品・園芸用品好調、マスク・除菌剤特需
  在宅時間の増加 ➡ 在宅環境整備ニーズ、巣ごもり消費の拡大
- 海外　　：タイ・中国　マーケティング費用体系・販売チャネル改革が奏功

★ 新型コロナウイルスによる影響・環境変化

- 「ニューノーマル」が、当社の取り扱う製品の消費環境に変化を及ぼす
- サプライチェーンに一時的な影響はあったが、現在は平常化
  最適地調達・生産の見直しの機会
- 感染リスクの軽減に向けて、働き方の見直し、環境整備を実施

© Earth Corporation　All Rights Reserved.

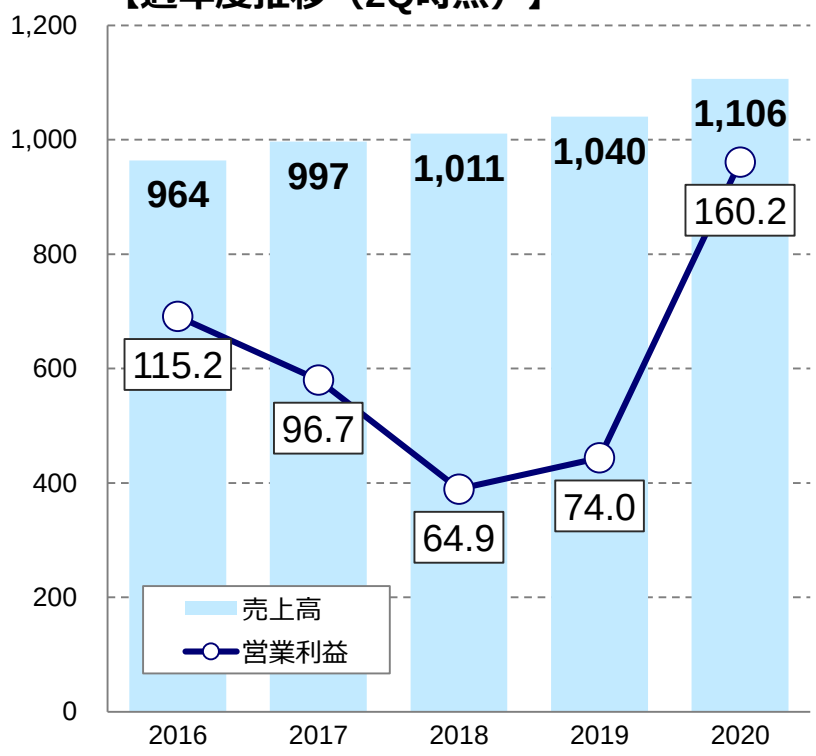
2020.2Q 業績ハイライト

（単位：億円）

- ■ レキットベンキーザー社との業務提携契約解消の影響をカバーし、実質100億円の増収を達成
- ■ 段階利益はいずれも、第2四半期時点の過去最高益を更新

	19.2Q 実績	20.2Q 計画	20.2Q 実績
売上高	1,040億円	1,055億円	1,106億円
売上総利益	415.8億円	445.0億円	477.7億円
営業利益	74.0億円	104.0億円	160.2億円
経常利益	75.3億円	106.5億円	161.3億円
親会社株主帰属四半期純利益	46.5億円	69.7億円	109.4億円
EBITDA	104.5億円	117.5億円	189.7億円

【過年度推移（2Q時点）】



© Earth Corporation All Rights Reserved.

四半期別業績

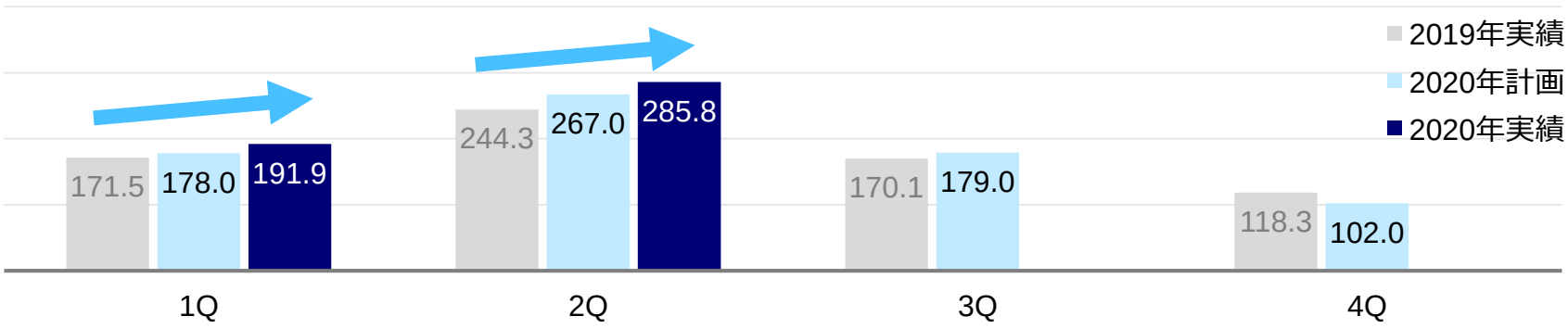
（単位：億円）

粗利益

累計前期差
＋61.9

累計計画差
＋32.7

■ 増収効果に加え、高収益製品の好調さによる売上構成変化が寄与

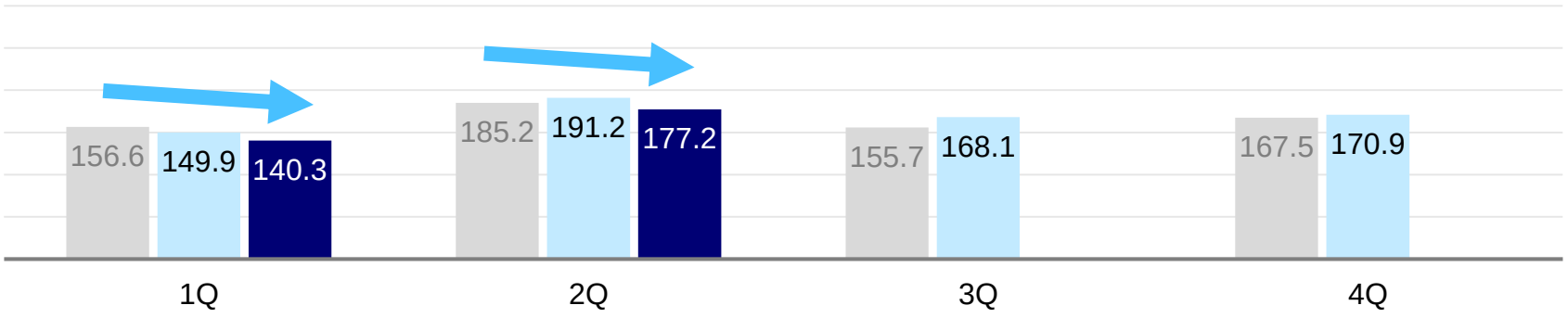


販管費

累計前期差
▲24.2

累計計画差
▲23.4

■ マーケティング費用比率の低減、コロナ禍に伴う活動抑制（▲5.0）などにより減少



厳しい環境下でも、確実に利益を生みだせる体質への変革

© Earth Corporation All Rights Reserved.

ポジティブ要素：「ニューノーマル」による変化

- 室内換気に伴う
  虫ケア用品の需要増

アース製薬

- 在宅時間の増加に伴う
  居心地の良い空間・気分転換に対する需要

アース製薬
BATHCLIN
白元アース

- 除菌・衛生意識の拡大
- マスク・衛生関連用品の習慣的な使用

アース製薬
白元アース
アース環境サービス株式会社

- ペット飼育需要の増加による
  ペットケア用品の需要増

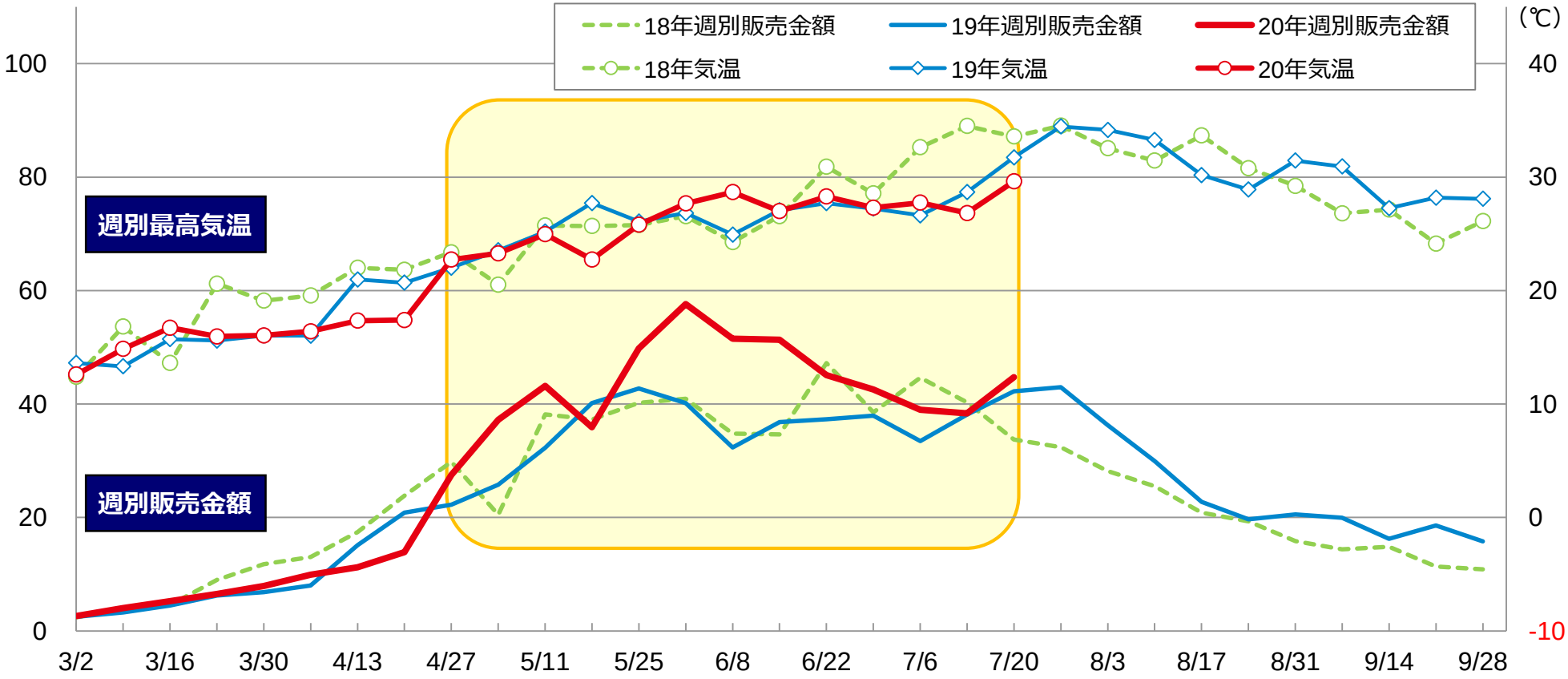
アース・ペット

“With / After corona”においても、調達・消費の面で成長機会『大』

© Earth Corporation All Rights Reserved.

国内虫ケア用品市場の状況

- 出荷最盛期に差し掛かる5～6月にかけて、虫ケア用品市場は極めて好調に推移
- 6月末時点　市場前期比：122%
- 7月に入っても前年を上回り、好調を持続



※自社推計

© Earth Corporation　All Rights Reserved.

海外の状況

- タイ：Earth(Thailand)Co.,Ltd.
  - 虫ケア用品　単月市場シェア No.1
  - 芳香剤・モンダミン　好調

売上高
前年同期比
137%

- 中国：安斯（上海）投資有限公司
  - 虫ケア用品・日用品 好調
  - EC伸長

売上高
前年同期比
118%
※OEM分除く

- ベトナム：Earth Corporation Vietnam
  - 住居用洗剤中心に売上増

売上高
前年同期比
101%

- 輸出
  サウジアラビア
  中心に好調

- 越境EC
  ブラックキャップ
  売上拡大

輸出・越境EC
売上高 計
前年同期比
132%

アジア地域で着実に拡大を続ける

※売上高は現地通貨ベース

営業利益変動要因（計画比）

（単位：億円）

104.0　20.2Q 計画

＋56.2

160.2　20.2Q 実績

＜内訳＞

売上総利益プラス分 ＋32.7	・ 売上計画達成	＋22.0
	・ 売上構成変化･粗利率改善	＋10.7
販管費マイナス分 ＋23.4	・ 人件費の計画下振れ分	＋2.5
	・ 物流費の圧縮	＋0.2
	・ 広告宣伝費の未使用	＋8.1
	・ 販売促進費の効率化	＋0.2
	・ 旅費･交際費の未使用分（コロナ影響含む）	＋5.5
	・ その他（期ズレ分含む）	＋6.9

＋は増益要因、▲は減益要因

© Earth Corporation　All Rights Reserved.

2. ファイナンス施策実施の経緯・目的

ファイナンス実施の背景・手法の検討

新型コロナウイルスの影響による経済環境の不透明さの中であっても、成長戦略のためのキャッシュの流動性は確保したいと決断

- **ファイナンス手法については、2018年より調査開始**

- **エクイティファイナンスを選択**
  - 今回のスキームは、発行株式数が最大1,800,000株と固定された「新株予約権」
  - 一定の希薄化は生じるが、2020年のROE目標6.4%は据え置く

- **財務への影響**
  - 20.1Q時点　借入金：260億円、Debt／EBITDA：2倍超
    ➡ 次期・中期経営計画の目線　Debt／EBITDA 1.0倍へ

© Earth Corporation All Rights Reserved.

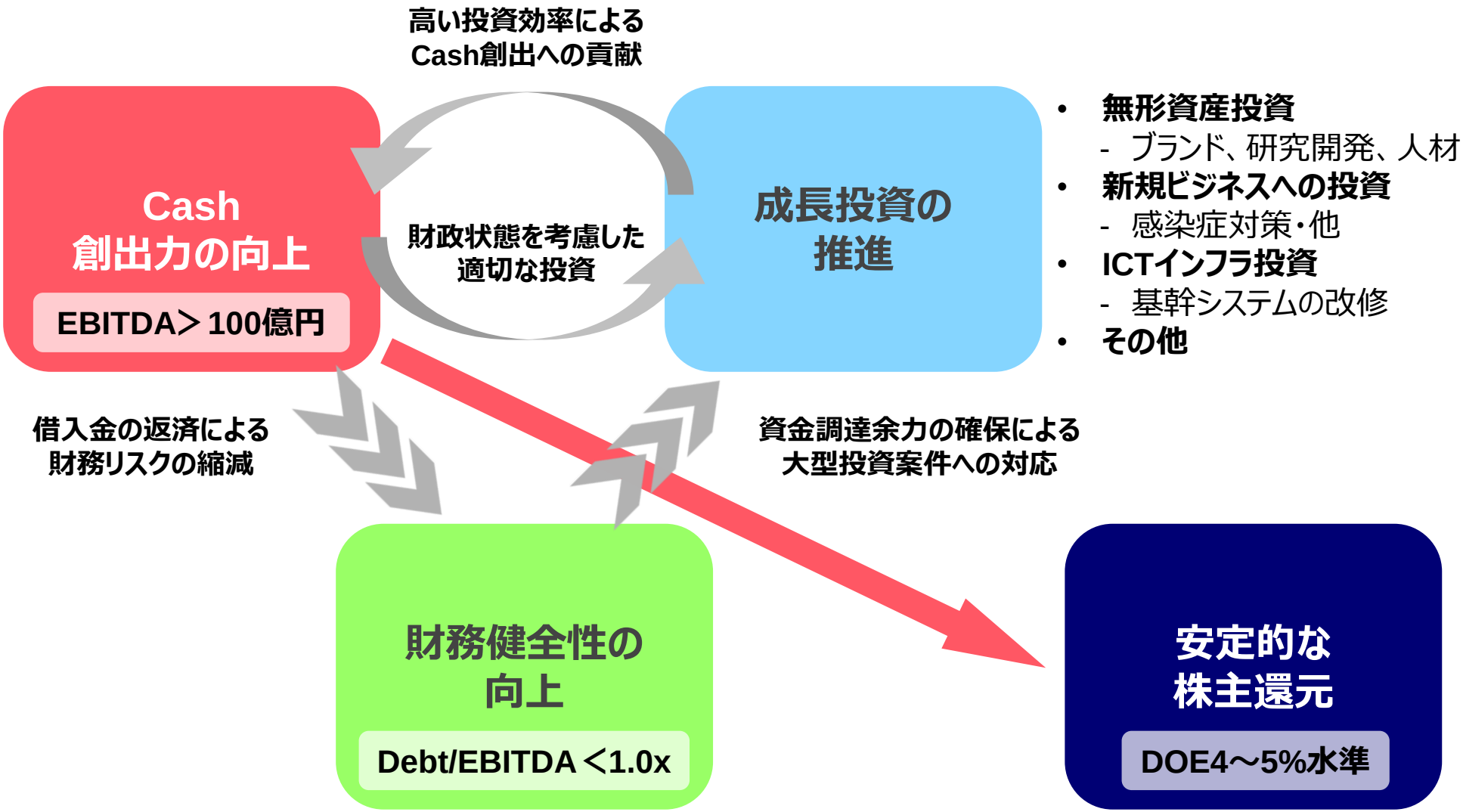
調達資金の使途計画

調達資金は次期・中計における戦略投資に活用
成長と資本効率の両立を意識したプランとする

資金使途	想定金額	支出予定時期
• アジア収益基盤拡大に向けた商品開発・マーケティング投資	55億円	20年8月～23年7月
• 感染症対策をはじめとした事業領域拡大のためのESG・イノベーション投資	30億円	20年8月～23年7月
• ICTインフラ投資・DX推進	15億円	20年8月～23年7月
• 財務基盤の向上を目的とした借入金の返済	45億円	20年8月～23年7月
• 合計	145億円	

© Earth Corporation All Rights Reserved.

資源配分の考え方（After Finance）



- **無形資産投資**
  - ブランド、研究開発、人材
- **新規ビジネスへの投資**
  - 感染症対策・他
- **ICTインフラ投資**
  - 基幹システムの改修
- **その他**

© Earth Corporation All Rights Reserved.

3.　今後の取り組み

過去からの振り返り ～ 収益構造改革の進捗 ～

2018年	2019年	2020年
連結純損失の計上	**仕組みづくりと変革の推進**	**次期・中計につなげる1年**
• **高収益カテゴリーの不振** - 虫ケア用品：天候不順	• **最悪の環境を想定した経営** - どんな環境でも着実な利益	• **利益重視の経営** - モノサシの整備 - カテゴリー収益性の改善 - 生産性向上に向けた取り組み
• **マーケティング費用効率の低下** - 市場状況・消費環境など変化への対応に遅れ	• **経費コントロール** - 費用対効果の最適バランス - 販促費の効果検証の仕組み - メリハリの効いた広告宣伝	• **予兆の把握による迅速な変革** - 月次業績モニタリング強化 - 部門コミュニケーションの促進 - 情報のボトムアップ
• **グループ会社収益悪化** - タイ：拡大戦略によるリスクの発露 - ペット：事業再編に伴う負の遺産	• **グループ会社収益改善** - タイ：事業基盤の再構築が奏功 - ペット：負の遺産の整理に目途 黒字転換に向けた基盤構築	• **会社運営の効率化** - “With corona”に向けた働き方改革の推進

© Earth Corporation All Rights Reserved.

収益構造の変化 ～ 20.2Q時点実績 ～

- 高シェア・高収益製品の売上増と
  低採算SKU削減によるミックス改善

アースノーマット
前年同期比

119%

- 広告宣伝の機動的な投入
- メディアミックス変化

広告宣伝費
前年同期比

73.9%

- 製造原価低減と安定供給の両立

製造コスト低減取り組み
前年同期比

▲6.7億円

- 販売促進費の適切なコントロール

販売促進費
前年同期比

90.0%

販促費/売上高
前年同期比

▲1.1pt

収益性向上に向けた取り組みを進める

© Earth Corporation All Rights Reserved.

パブリシティのご紹介

虫ケア製品 原点に迫る

アース製薬「ごきぶりホイホイ」世界販売

生態系 正しく理解

多種多様な害虫飼育・研究

語り部の経営者たち

アース製薬 川端克宜社長48歳

「お客さまの期待値を1ミリでも上回りたい」

■アース製薬
「とらふぐコラーゲン美容ジュレ」2種

タワマン高層階にもゴキブリが宅配される!

今年こそ蚊に刺されにくくなりたい！蚊のプロに聞いた対策法4つ

7/20(月) 13:00 配信

今年こそ蚊に刺されたくない！蚊のプロに聞いた対策法

楽しい夏の訪れと同時に避けられない存在。それが「蚊」です。今年は例年ほどみんなでアウトドアを楽しむ…という機会はそう多くないかもしれませんが、たとえば「ベランダでまったり時間を過ごす」とか「ちょっと買い物に出かける」…などなど、そ

ゴキブリがいない家、5つの条件とは？

7/8(水) 15:06 配信

ゴキブリと遭遇する機会が増える季節になりました。

目にするたびに退治しているのに、な
きません。

ゴキブリがいない家に暮らしたいと思
ゴキブリがいない家とはどんな家なの

ゴキブリが生存できる条件を断つ

月に1～2回フィルターを掃除するだけで電気代は800円以上節約できる!?市販のエアコンクリーナーの正しい使い方

2020.05.14 テクノロジー #エアコン #家電

エアコンのフィルター掃除は、普段目につかない部分なのでつい後回しになりがちという人は多いだろう。そこで、手軽に使えるスプレータイプのエアコンクリーナーをご紹介したい。

紙媒体、デジタルなど多面的なアプローチで、効率的なリーチを実現

© Earth Corporation All Rights Reserved.

魅力ある製品の継続的なローンチ

	2018年	2019年	2020年
上期			
下期			Coming Soon
寄与率	単年 ：3.8% 3カ年：12.3%	単年 ：4.3% 3カ年：10.3%	

※寄与率はアース製薬単体ベース

市場の活性化と売上成長に貢献

© Earth Corporation All Rights Reserved.

新製品の投入　～20秋冬～

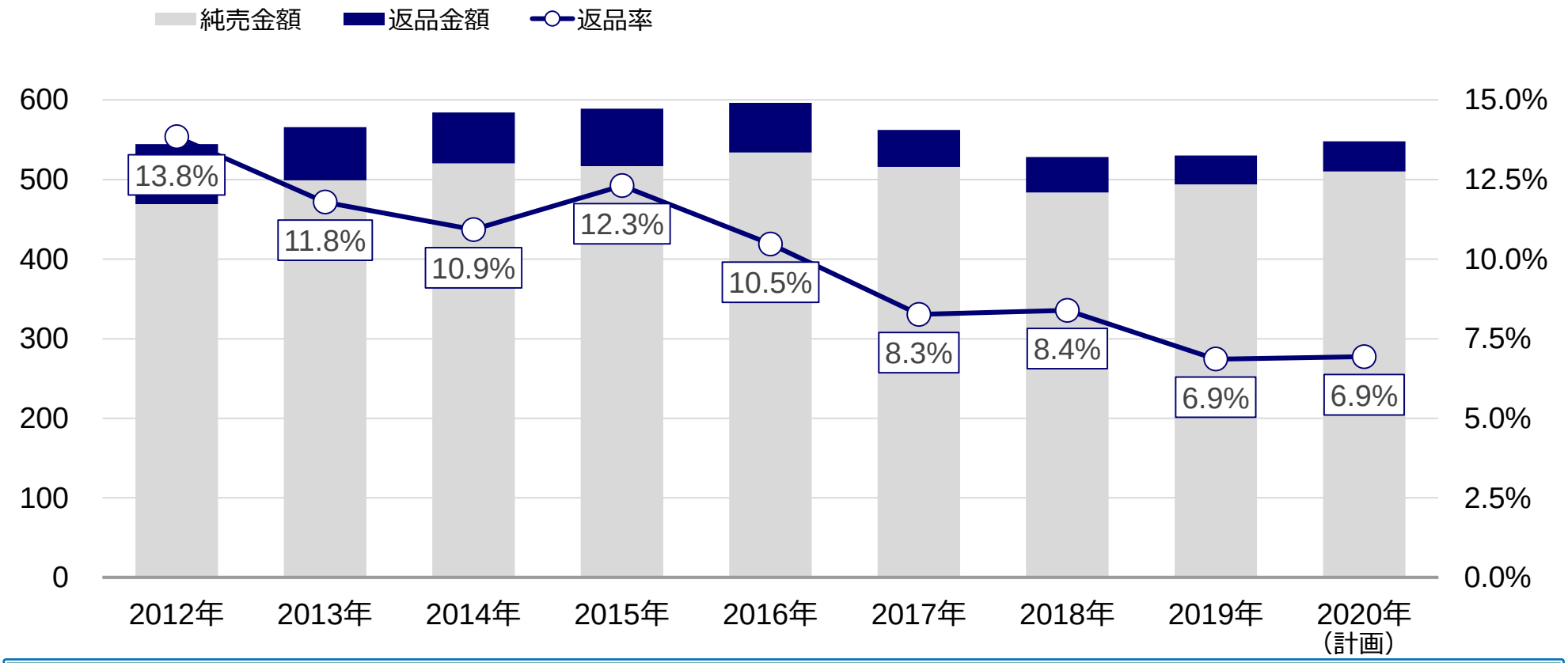
下半期に日用品部門のさらなる拡大を図る

© Earth Corporation　All Rights Reserved.

返品削減・返品率の改善

（単位：億円）

■ 天候の後押しを受けた昨年と同等の返品率（6.9%）を見込む



収益性向上に向けた取り組みを進める

© Earth Corporation All Rights Reserved.

MA-Tの特長（Matching Transformation system）

- **カテゴリー名：要時生成型亜塩素酸イオン水溶液**
  - 略称MA-T、菌・ウイルスに対して必要な時に必要なだけ反応が起こる
- **殺菌力が高く、人体に無害**
  - 極めて高い「**安全性**」
  - ウイルス、細菌を死滅させる高い「**殺菌力**」
  - 強い酸化力による「**消臭効果**」
- **コロナウイルスへの効果※**

菌・ウイルス	液剤濃度	試験結果（%阻害）
SARSコロナウイルス	100ppm	98.22%
MERSコロナウイルス	100ppm	99.82%
新型コロナウイルス（COVID-19）	50ppm	99.98%

国が認めるアルコール、次亜塩素酸に次ぐ新規の消毒剤を目指す

© Earth Corporation All Rights Reserved.

※大阪大学微生物病研究所で評価

感染症対策ビジネスの発展に向けた動き

- **MA-Tの普及に向けて3社間包括業務提携契約を締結**

特許保有	研究・開発	商品開発 マーケティング・販売
ACENET inc	dotAqua	EARTH Act For Life

- **【今後の取り組み】**
  - MA-Tに関する共同開発
  - MA-Tの価値向上及び認知拡大に向けた取り組み
  - MA-Tの社会的信用の向上に向けた行政機関への働きかけ
  - 海外でのビジネス展開の検討

3 すべての人に健康と福祉を

『虫』だけでなく『感染症』からも守る空間づくりに貢献

© Earth Corporation All Rights Reserved.

海外展開

2020年：現地法人（連結子会社）の黒字化実現に目途

海外事業での収益拡大フェーズへ

タイ	• 強みである商品ラインナップの多様性を活かし、 タイ国内虫ケア用品シェアNo.1を目指す
ベトナム	• 流通在庫の適正化、原価・販管費のコストダウンによる利益創出を目指す • 主力ブランド「GIFT」（住居用・食器用洗剤）のASEAN地域展開を検討
中国	• 成長著しいECチャネルでの販売を強化 • 数ある商品から、中国市場に受け入れられるモノを厳選して導入

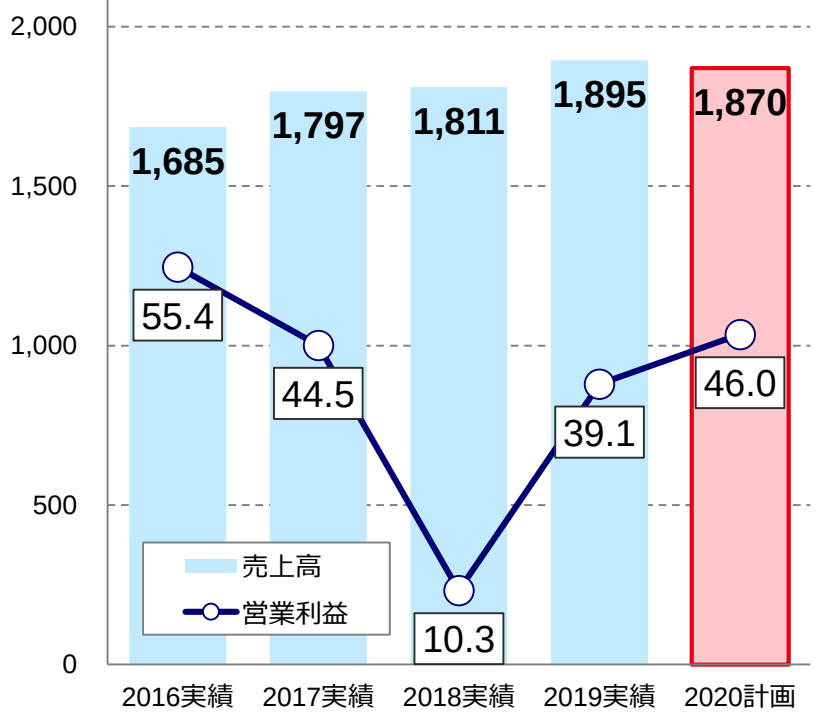
2020年 通期計画

（単位：億円）

- 現時点では、予測の蓋然性に乏しいため、本年2月に公表した計画を据え置く
- 公表すべき事実が判明次第、速やかに開示する

	2019年実績		2020年計画	増減
売上高	1,895億円	▶	1,870億円	▲25.2億円
売上総利益	704.1億円	▶	726.0億円	＋21.8億円
営業利益	39.1億円	▶	46.0億円	＋6.8億円
経常利益	43.2億円	▶	50.0億円	＋6.7億円
親会社株主帰属当期純利益	12.5億円	▶	25.5億円	＋13.0億円
ROE	3.1%	▶	6.4%	＋3.3pt

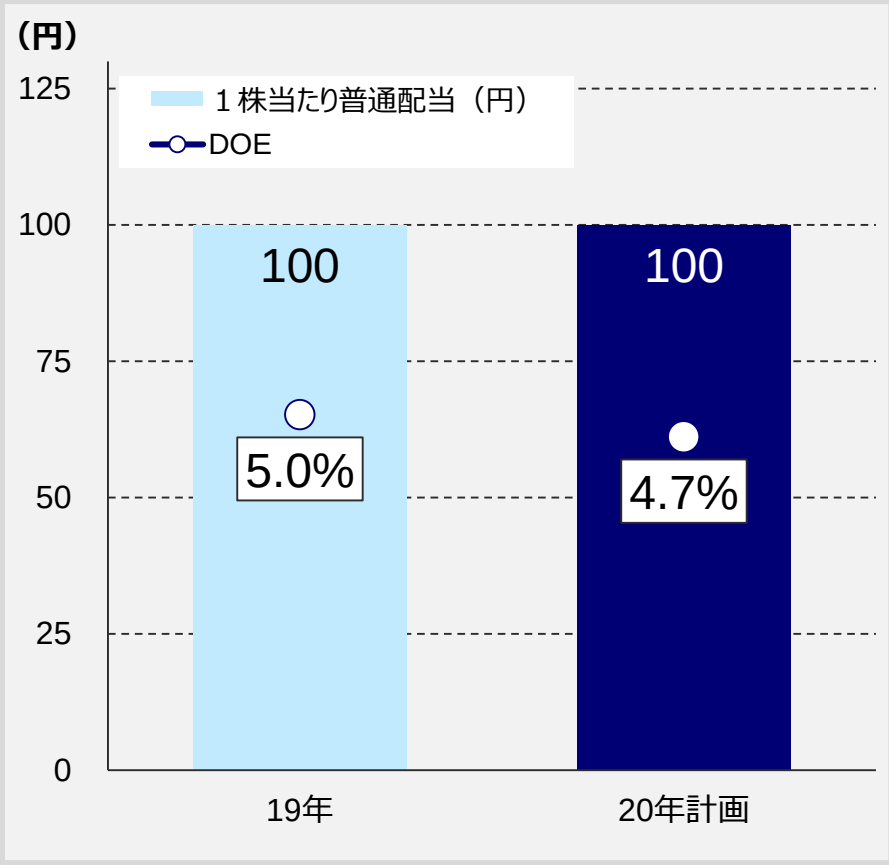
【過年度推移】



© Earth Corporation All Rights Reserved.

株主還元

- 安定的かつ継続的な配当を目的として、純資産配当率（DOE）4～5%を目安に配当
- 1株当たり配当金は当初計画通り100円を予定
- 本年中に新株予約権18,000個が全て行使された場合、配当総額は1.8億円増加



2020年12月期

DPS：¥100（予定）
（1株当たり配当）

DOE：4.7%（見込）
（純資産配当率）

※すべての新株予約権が年内に行使されると仮定

© Earth Corporation All Rights Reserved.

地球を、キモチいい家に。

EARTH
Act For Life

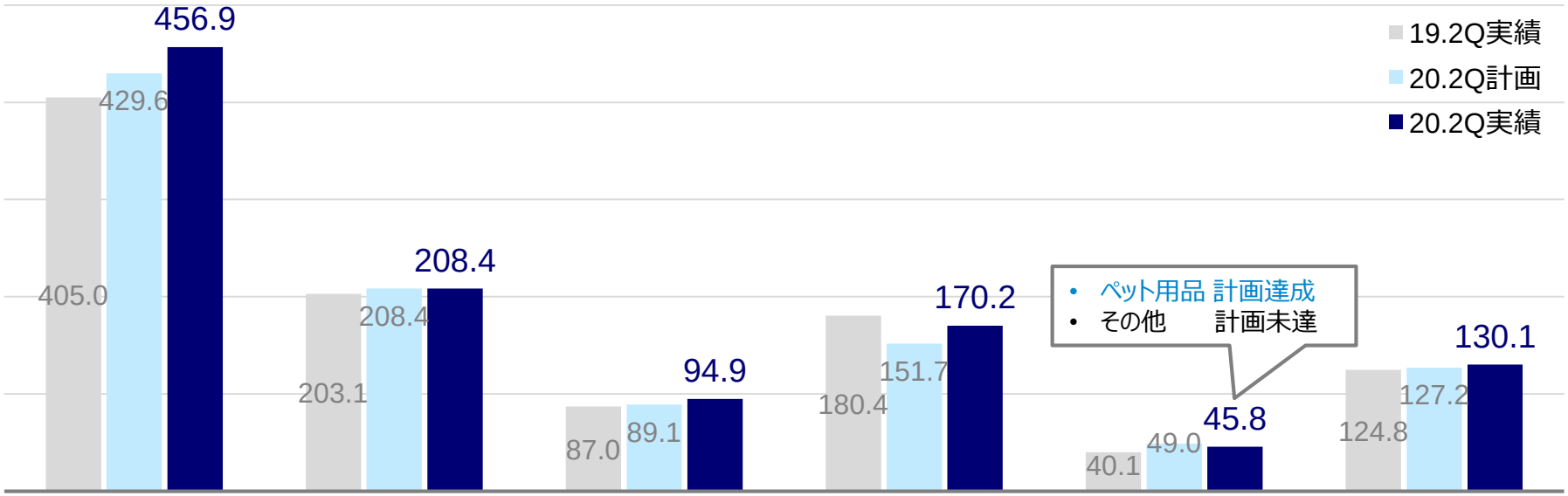
本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

Appendix.

部門別売上高　外部顧客向け

（単位：億円）

- ■ 全体　：「ニューノーマル」による変化
- ■ 虫ケア用品　：良好な気象条件、需要の増加による大幅な増収
- ■ 日用品　：巣ごもり消費の盛り上がり、家庭用マスク特需



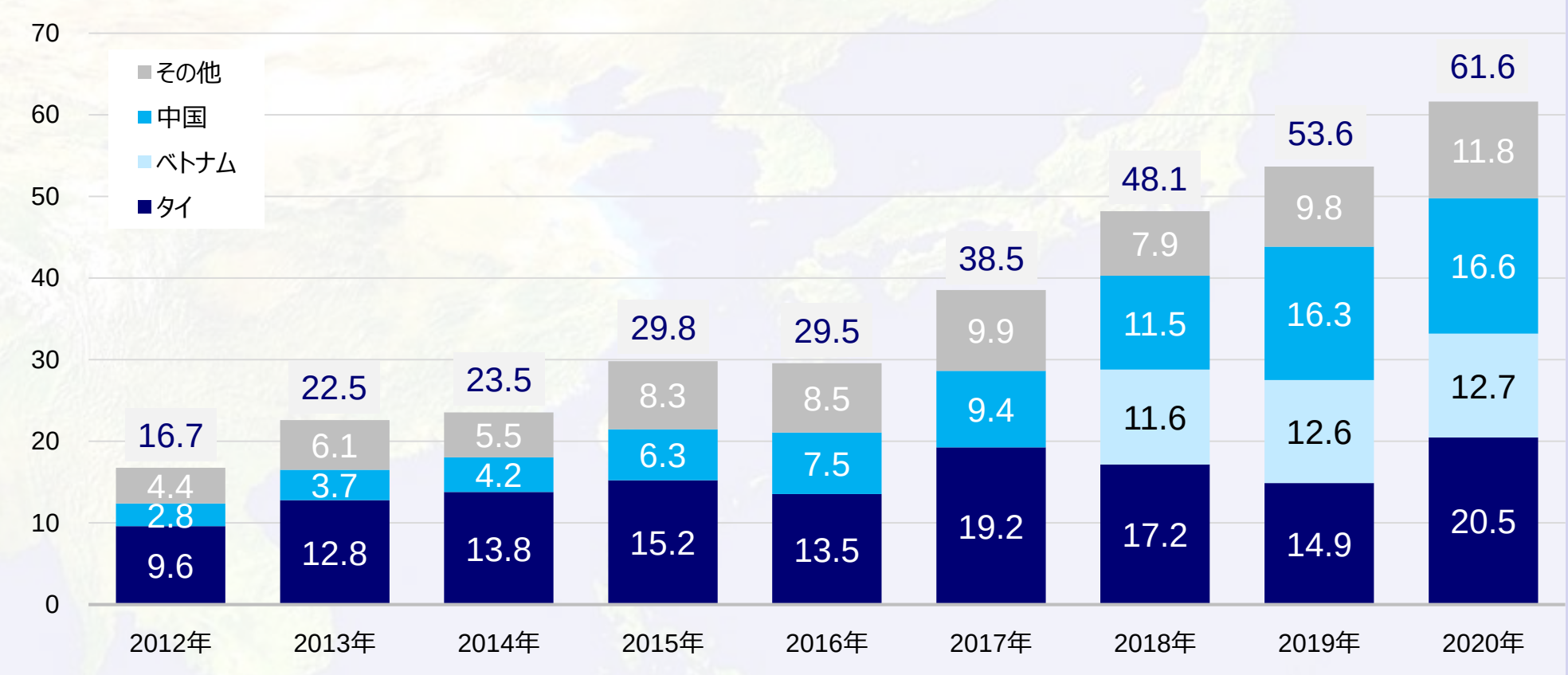
	虫ケア用品	口腔衛生用品	入浴剤	その他日用品	ペット用品・他	総合環境衛生
前期差額	＋51.9	＋5.2	＋7.9	▲10.1	＋5.7	＋5.3
計画差額	＋27.2	▲0.0	＋5.7	＋18.5	▲3.2	＋2.9

© Earth Corporation　All Rights Reserved.

海外売上高

（単位：億円）

- タイを中心に各地域とも増収、全体では前年同期比115%
- 現地通貨ベース（前年同期比）：タイ137%、ベトナム101%、中国102%



営業利益変動要因（前期比）

（単位：億円）

74.0	19.2Q 実績

＋86.2

＜内訳＞

売上総利益プラス分 ＋61.9	・ 増収に伴う売上総利益の増加	＋41.0
	・ 売上構成比の変化による影響	＋20.9
販管費マイナス分 ＋24.2	・ 人件費の増加分	▲1.7
	・ 物流費の増加分	▲1.5
	・ 広告宣伝費の減少分	＋14.5
	・ 販売促進費の減少分	＋7.7
	・ 旅費・交際費の減少分（コロナ影響含む）	＋3.9
	・ その他	＋1.1

160.2	20.2Q 実績

＋は増益要因、▲は減益要因

© Earth Corporation All Rights Reserved.

販管費明細

（単位：百万円）

	2019.2Q	2020.2Q	前期差
人件費	9,075	9,247	＋171
運送費	1,927	2,083	＋155
保管料	1,100	1,096	▲4
広告宣伝費	5,592	4,133	▲1,458
販売促進費	7,759	6,981	▲777
研究開発費	1,246	1,200	▲46
減価償却費	545	552	＋6
のれんの償却費	1,293	1,230	▲62
旅費交通費	780	541	▲238
交際費	271	110	▲160

	2019.2Q	2020.2Q	前期差
租税課金	323	403	＋80
地代家賃	563	670	＋107
事務用品費	399	435	＋35
消耗品費	465	471	＋5
販売手数料	156	143	▲13
支払手数料	753	650	▲103
厚生福利費	376	358	▲17
雑費	254	269	＋15
その他	1,291	1,169	▲121
販管費　合計	34,178	31,753	▲2,425

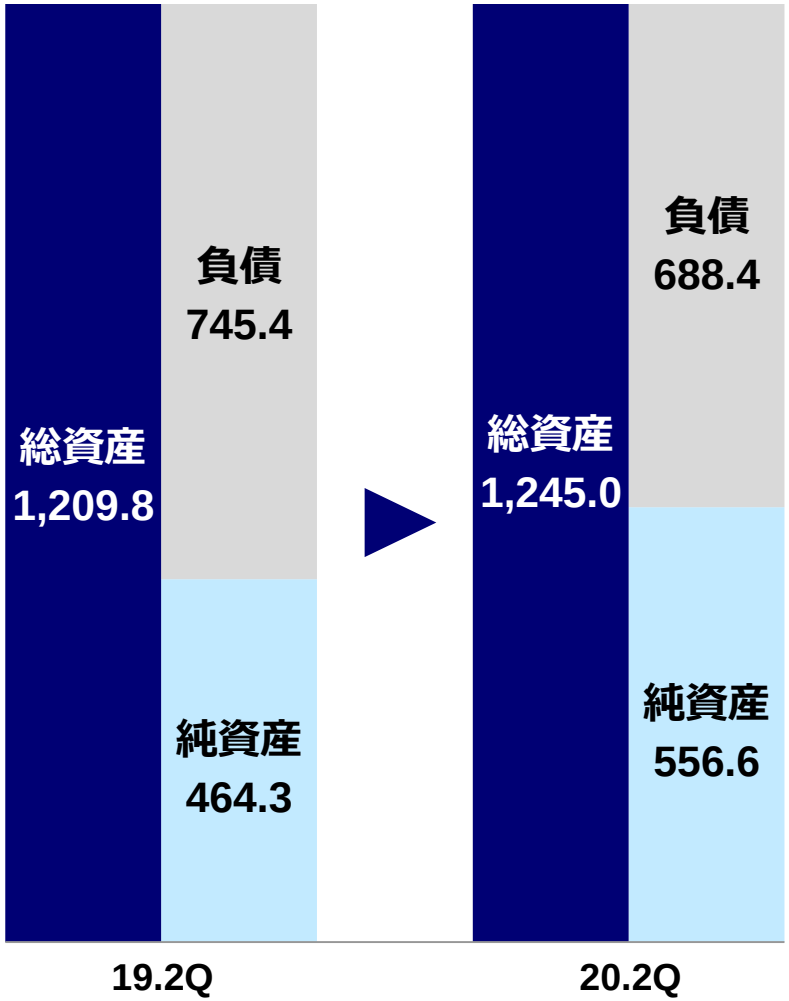
© Earth Corporation　All Rights Reserved.

財政状態

（単位：億円）

■ たな卸資産の圧縮、借入金の減少など、財務の健全化が進む

	19.2Q	20.2Q	増減
総資産	**1,209.8**	**1,245.0**	**＋35.2**
現金及び預金	66.3	87.7	＋21.3
売上債権	340.2	374.7	＋34.5
たな卸資産	249.1	210.3	▲38.8
有形固定資産	286.7	280.7	▲6.0
無形固定資産	150.0	117.9	▲32.0
投資その他の資産	93.8	153.3	＋59.5
負債	**745.4**	**688.4**	**▲57.0**
仕入債務	358.0	353.3	▲4.7
借入金	192.5	101.1	▲91.3
純資産	**464.3**	**556.6**	**＋92.2**
自己資本比率	**35.0%**	**41.2%**	**＋6.2pt**



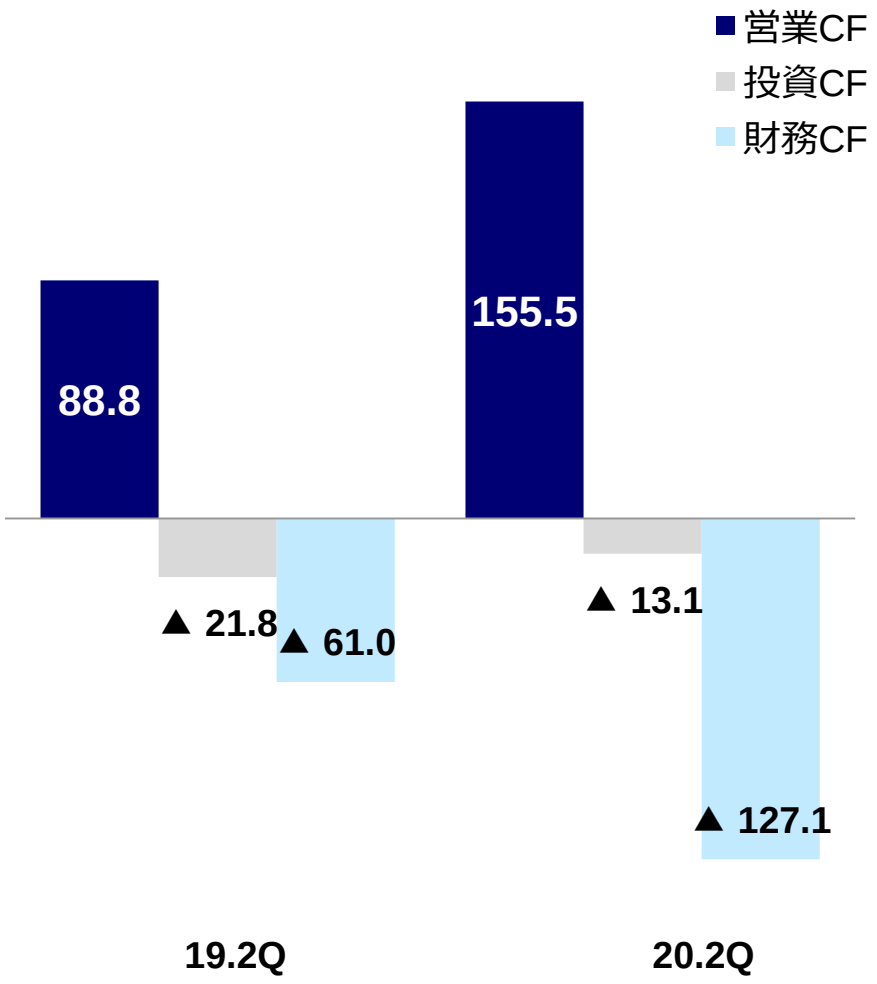
© Earth Corporation All Rights Reserved.

キャッシュ・フローの状況

（単位：億円）

■ 税前利益増加、在庫削減など、キャッシュ・フローの質が向上

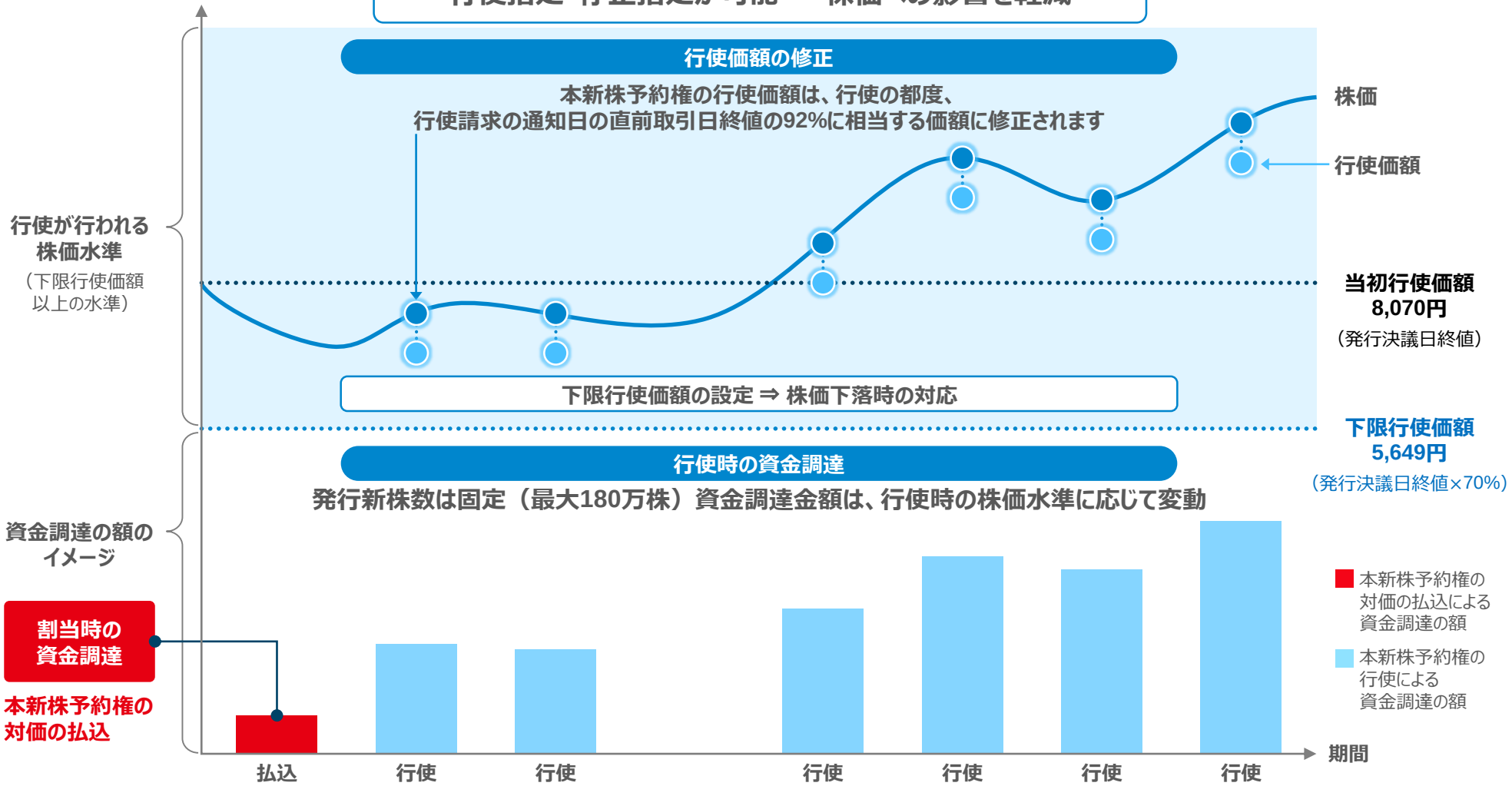
	19.2Q		20.2Q
営業キャッシュ・フロー	**88.8**	**⇒**	**155.5**
税金等調整前四半期純利益	75.1	⇒	160.7
減価償却費	16.3	⇒	15.9
のれん償却額	12.9	⇒	12.3
売上債権の増加額	▲120.1	⇒	▲149.0
たな卸資産の減少額（▲は増加）	▲11.4	⇒	14.0
仕入債務の増加額（▲は減少）	81.0	⇒	85.8
投資キャッシュ・フロー	**▲21.8**	**⇒**	**▲13.1**
有形固定資産の取得	▲15.3	⇒	▲12.1
その他	▲6.5	⇒	▲2.0
財務キャッシュ・フロー	**▲61.0**	**⇒**	**▲127.1**
借入金の増減（▲は減少）	▲35.6	⇒	▲105.0
配当金の支払額	▲23.2	⇒	▲20.2
フリーキャッシュフロー	**67.0**	**⇒**	**142.4**



© Earth Corporation All Rights Reserved.

新株予約権の行使と資金調達イメージ

株価の動向を見ながら、複数回による分散行使
行使指定・停止指定が可能⇒　株価への影響を軽減



© Earth Corporation　All Rights Reserved.

※ 上図はイメージであり、実際の当社株価の推移を予想若しくは保証するものではありません。

新株予約権の概要

割当予定先	野村證券株式会社
発行決議日／割当日	2020年7月7日／2020年7月28日
行使可能期間	2020年7月29日～2023年7月28日（3年間）
新株予約権の総数	18,000個
潜在株式数（新株予約権1個につき100株）	1,800,000株
潜在希薄化率	8.89%（2020年7月7日時点の発行済株式数に対する比率）
調達予定金額（※1）	約145.82億円
行使価額（新株予約権の行使時の交付株式対価）	行使の都度、各行使請求の通知日の直前取引日終値×92%に修正
当初行使価額	8,070円（発行決議日終値）
下限行使価額	5,649円（発行決議日終値×70%）
発行価額（新株予約権の割当時の対価）	1個：3,700円（1株当たり37円）
行使指定（※2）	当社の裁量で一定数量の行使を指定可能
停止指定（※2）	当社の裁量で行使出来ない期間を指定可能

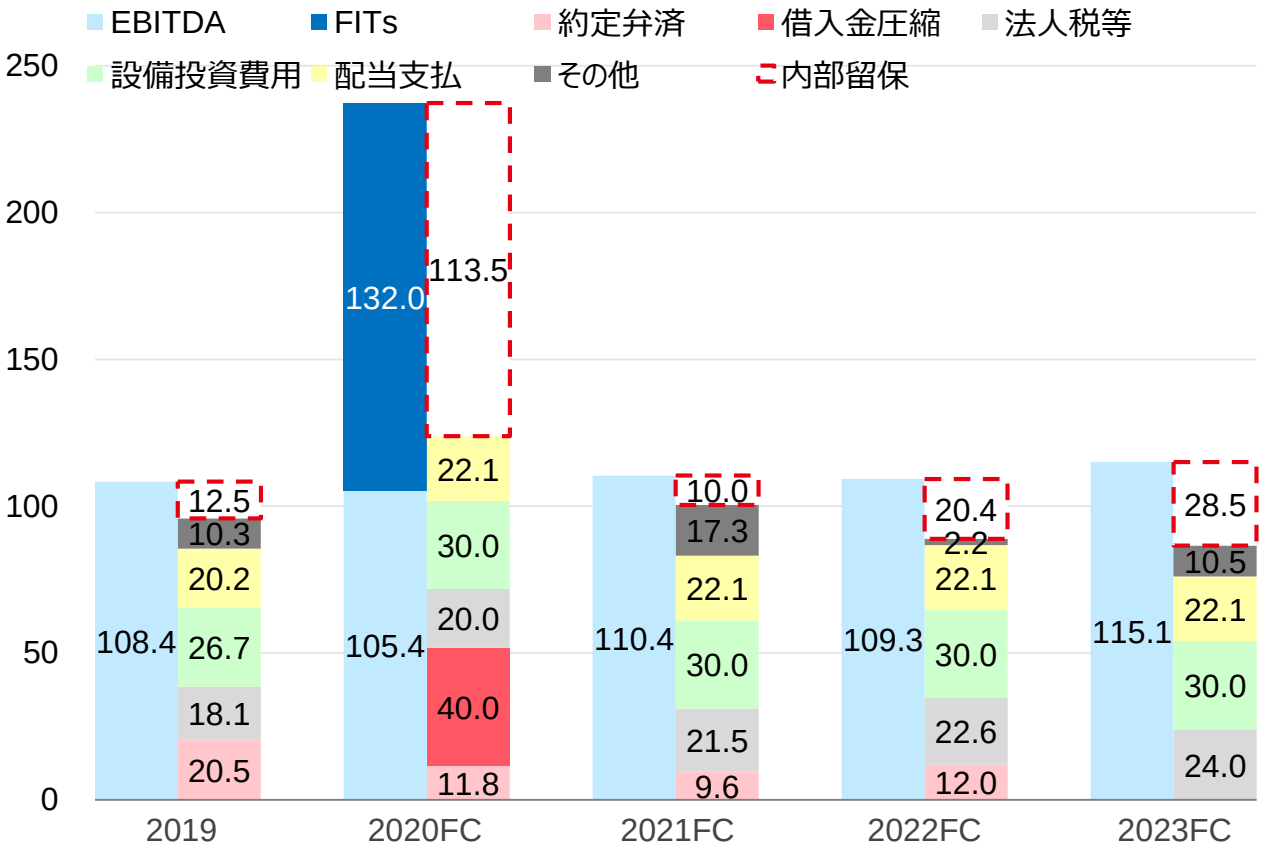
※1 調達予定金額は、当初行使価額で全ての行使が行われた場合を前提として記載しております。
※2 行使指定及び停止指定の詳細については、2020年7月7日付プレスリリースの３頁の「2.募集の目的及び理由（2）本新株予約権の商品性②当社による行使指定」及び4頁の「同③当社による停止指定」をご参照下さい。

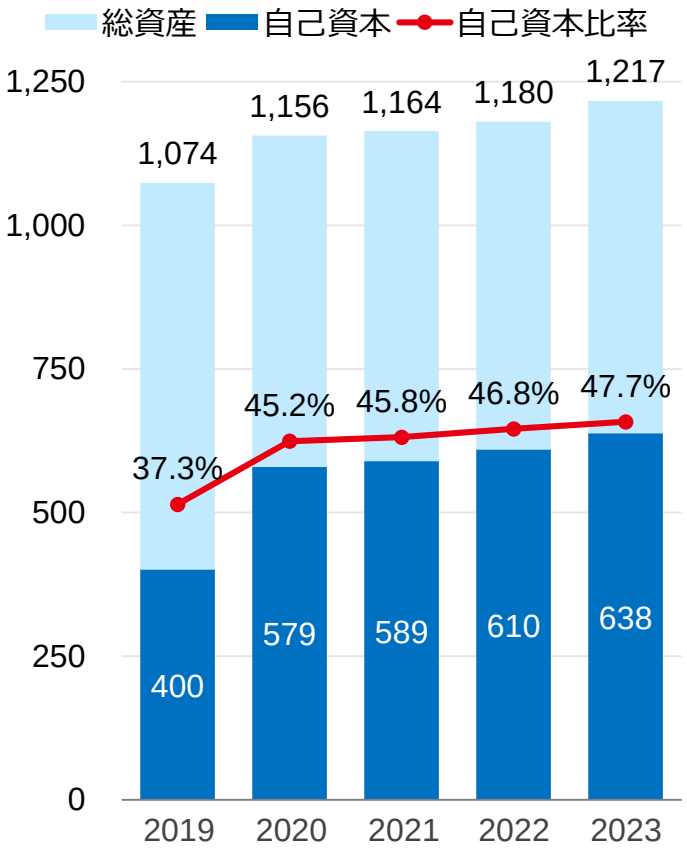
© Earth Corporation All Rights Reserved.

財務シミュレーション（After Finance）

■ 内部留保を毎年積み上げ、資本増強

■ 自己資本比率は2023年にかけて47.7%に上昇、財務の健全化に向けたアクション





© Earth Corporation All Rights Reserved.

※ EBITDAは、中期経営計画数値